

「そよごの会 枚岡の森 観察会」実施について 2016. 5. 16

1. 日時 2016年5月29日(日) 13:30~15:30
2. 場所 GG ひらおか302号室・枚岡の森
3. テーマ 「植物画に挑戦!!」
4. 当日の流れと役割分担

13:00 額田駅にて「そよごの会」の参加者が集合(そよごの会)

13:15 受付・GG ひらおか1階ロビー(そよごの会)

13:30 **観察会開始** GG ひらおか302

①そよごの会 会長あいさつ

②枚岡 NC スタッフ紹介(簡単に)

③本日の流れ

⑤講師紹介(日本植物画クラブ会員)

⑥講師講習・・・植物画とは 5分程度

13:45 **散策** 枚岡の森へ

GG ひらおか~くらがね橋~豊浦橋~GG ひらおか

※貴重品以外は、部屋に置いてよい。

※枚岡の森の初夏を感じてもらう。

※40分ほどで帰れるように促しながら歩く。

※この間に部屋で準備。

14:30 **作画** GG ひらおか302

※講師先生の指導のもと開始する。

※鉛筆のみで描く。

※スタッフは、それぞれのテーブルにつく。

※15:20からグループ内で互いに作品鑑賞。

15:25 **ふりかえりとおわりの挨拶**

①ふりかえり 2~3人の方に感想を聞く

②おわりの挨拶

5. 準備物と準備作業

①12時より、葉を採集。

アオキ・クヌギ・ナラガシワ・ノブドウ・カシワ・アイビー・アラカシ・トサミズキ

※それぞれ16枚。

※採集後は、タッパに濡れたキッチンペーパーを敷き作画がはじまるまで保存。

②準備物

虫めがね(40本)

ケント紙(A4版) 購入済み・サンドペーパー

植物画の見本・葉を書いた見本の紙(人数分コピーしたもの)・磁石・セロテープ

予備の鉛筆・消しゴム・ティッシュの箱・タッパ・キッチンペーパー・スーパーの袋・謝礼金

会場設営 (全員)

・6班の机

・見本掲示

(ホワイトボードに)

散策

部屋準備

各班の机の上に

・ケント紙(人数分)

・A4の紙(人数分) 練習用

・虫めがね(人数分)

・サンドペーパー(人数分)

・葉(8種×2枚)

「そよごの会 枚岡の森 観察会」を終えて

2016. 6. 2

①参加者数

そよごの会・・・19名 スタッフ・・・8名 講師・・・1名 計28名

②観察会を終えて

- スタッフ集合を12時にしていたので、余裕をもって準備が進められた。
- 開始時刻が10分ほどずれこんだが、はじめの会の進行がスムーズで予定通り散策に出られた。
- 散策は、植物画に使用する葉を中心に行っていたが、参加者の興味関心を引く動植物が多く、それぞれがしっかりと観察をしていたので時間がかかった。予定の半分のコースで引き返してきた。
- 散策の間に、部屋の中の準備がきちんとされていて、散策後すぐに植物画にとりかかることができた。
- 講師の的確な指導と見本の用意などで、参加者は50分間集中して作画することができた。
- 仕上がった作品をグループの中で相互鑑賞することで、互いに認め合い、ほめ合う姿がみられ和気あいあいとした雰囲気となった。
- 参加者の感想では、
 - ・ こんなに一枚の葉をしっかりと見つめて描くのは初めてでよい経験となった。
 - ・ デッサンと植物画の違いがわかった。
 - ・ 行き届いた観察会でよかった。

などのご意見をいただいた。

《枚岡の森 観察中》



《植物画に挑戦！》

《講師先生のお話》



《植物画の作画中》



当日の資料①

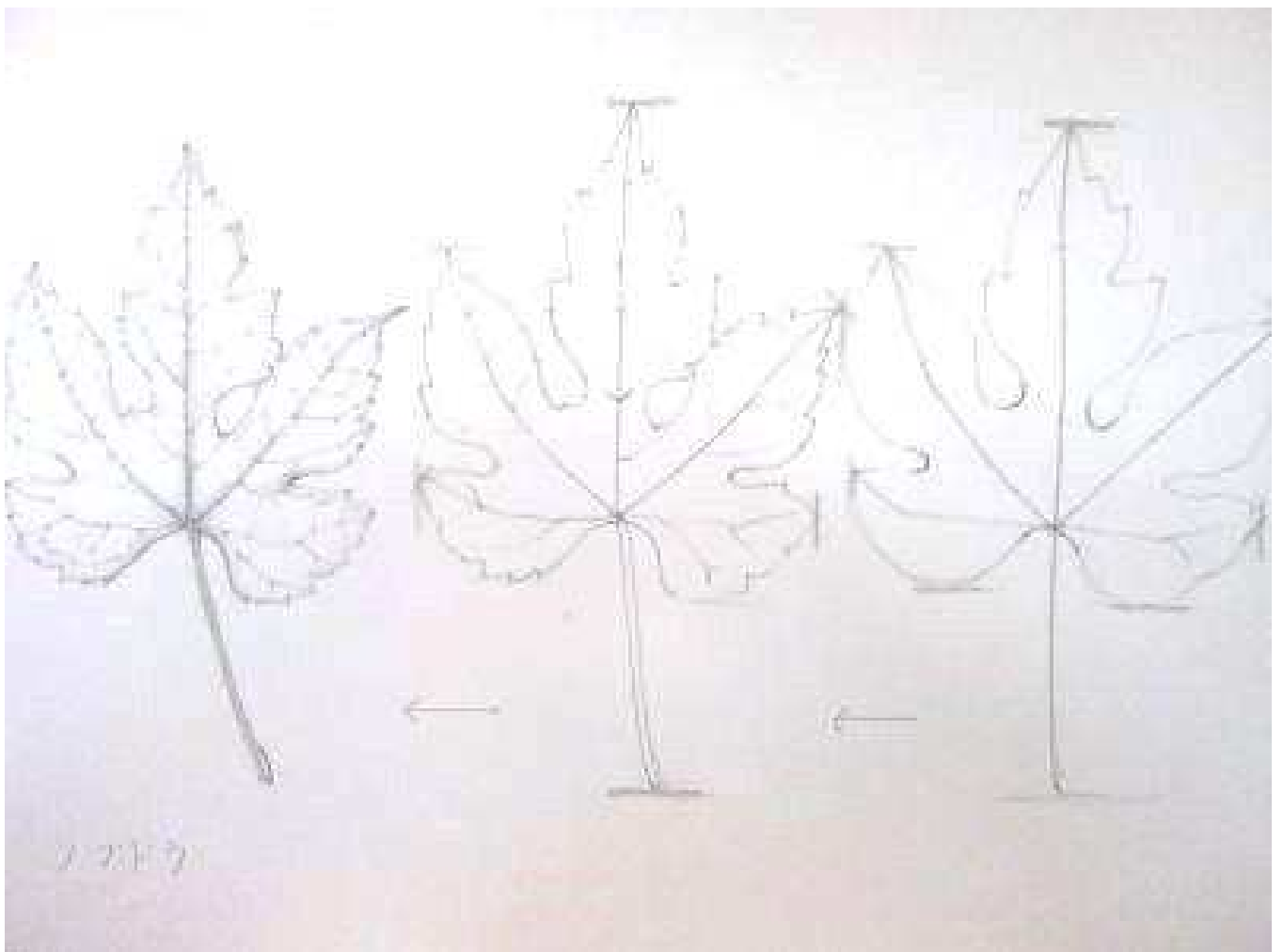
《ボタニカルアート》



《ボタニカルアート》



《植物画の描き方》



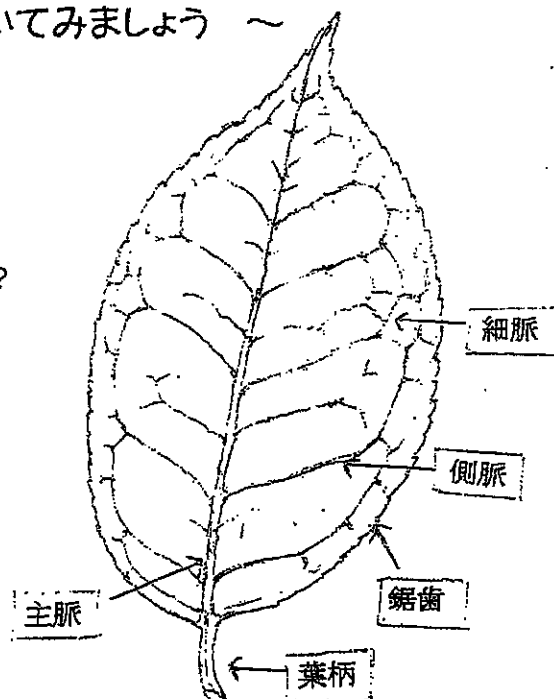
「植物画に挑戦！」

～ 1枚の葉っぱを丁寧に正確に描いてみましょう ～

描く前に よく観察しましょう

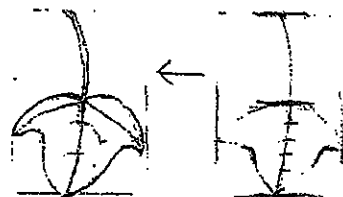
- ・葉の形 とがっているところ ふくらんでいるところ
長さ、幅、葉の先端はどうなっていますか？
- ・色 濃い部分、明るい部分 表の色、裏の色
- ・葉脈 主脈 側脈 細脈
- ・質感 うすい？ぶあつい？光沢がある？
- ・鋸歯 (きよし) 葉のふちにあるギザギザ
- ・葉柄 長さ 毛がある？ない？

描く前に試し紙で 簡単に線を描いてみましょう
肩の力がぬけましたか？



実物大で描きます。

- ① 葉っぱを画用紙の上において でっぱっているところ
上下左右に印をつけて、中央の主脈の線を描きます。
- ② おおまかな、りんかくの線を描いていきます。
- ③ 主脈にめだつ側脈の位置に印をつけて
- ④ 流れにそって線をひいていきます。
- ⑤ 葉のふちのギザギザ (鋸歯) を描いて



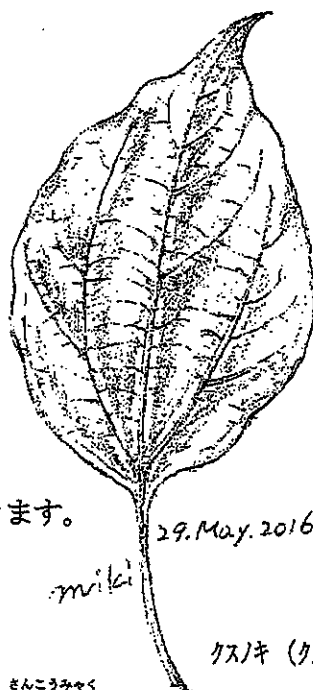
- ☆ 側脈や細脈を描くとき枝分かれしているところ
(角度に注意して) を強調するとメリハリがでます

鉛筆でしあげましょう

鉛筆で陰影をつけていきます。濃い部分
影の部分からいれていきます。



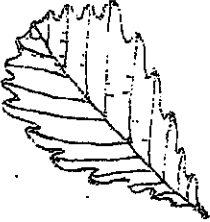

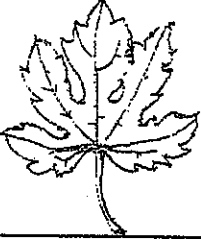
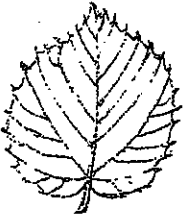

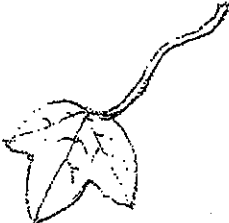
◎ 光の方向に注意して

主脈に濃い影があるのでいれていきます。葉の先端
側脈などの影の濃い部分をみつけて 影をかさねていきます。
明るいところはぬりのこして、葉柄にある影もたして
最後に、今日の日付とサインをいれて 完成です。



クスノキ (クスノキ科)

さんこうみやく
特徴: 三行脈 2本の側脈が長いので一見3つの脈に見えることからこのような葉の脈を三行脈という。

	クヌギ	ブナ科	葉は長めでアベマキ、クリの葉に似るが葉の先に葉緑素がない(鋸歯の先が白くなっている)クリの鋸歯の先は緑色。クヌギの葉の裏は緑色、アベマキの葉の裏は白っぽい。互生(1つの節に1枚ずつ葉がつくこと)
	ナラガシワ	ブナ科	互生。荒く大きな鋸歯、側脈の数 9~15対 表面深緑色、裏面灰白色、ミズナラに似るが長い葉柄があるので区別しやすい
	カシワ	ブナ科	落葉 高木 互生。側脈の数は8~12対。葉柄の長さは短い。
	アラカシ	ブナ科	葉は互生し、葉身(葉柄の先につく広い部分)は長楕円形で、葉の縁は、上半分に粗い鋸歯がある。
	ノブドウ	ブドウ科	落葉 つる植物 対生(1つの節に2枚の葉がつくこと)
	トサミズキ	マンサク科	土佐、高知県から出た水木。落葉低木。葉は互生、葉の縁には波状の鋸歯がある。若い枝や葉柄、葉裏、花序に毛がある。
	アオキ	ガリア科 (旧科名 ミズキ科)	対生し、葉身は長楕円形。縁にはまばらに鋸歯がある。質は厚く、表面には光沢がある。
	アイビー	ウコギ科	別名「ヘデラ」「キツタ」と呼ばれる常緑のつる性植物。対生。茎から気根がでる(空気中にのびだしてる根)